

スタートアップを起爆剤にイノベーションを

**AICHI-STARTUP**

愛知から、  
未来を創る。

CREATE the FUTURE from AICHI

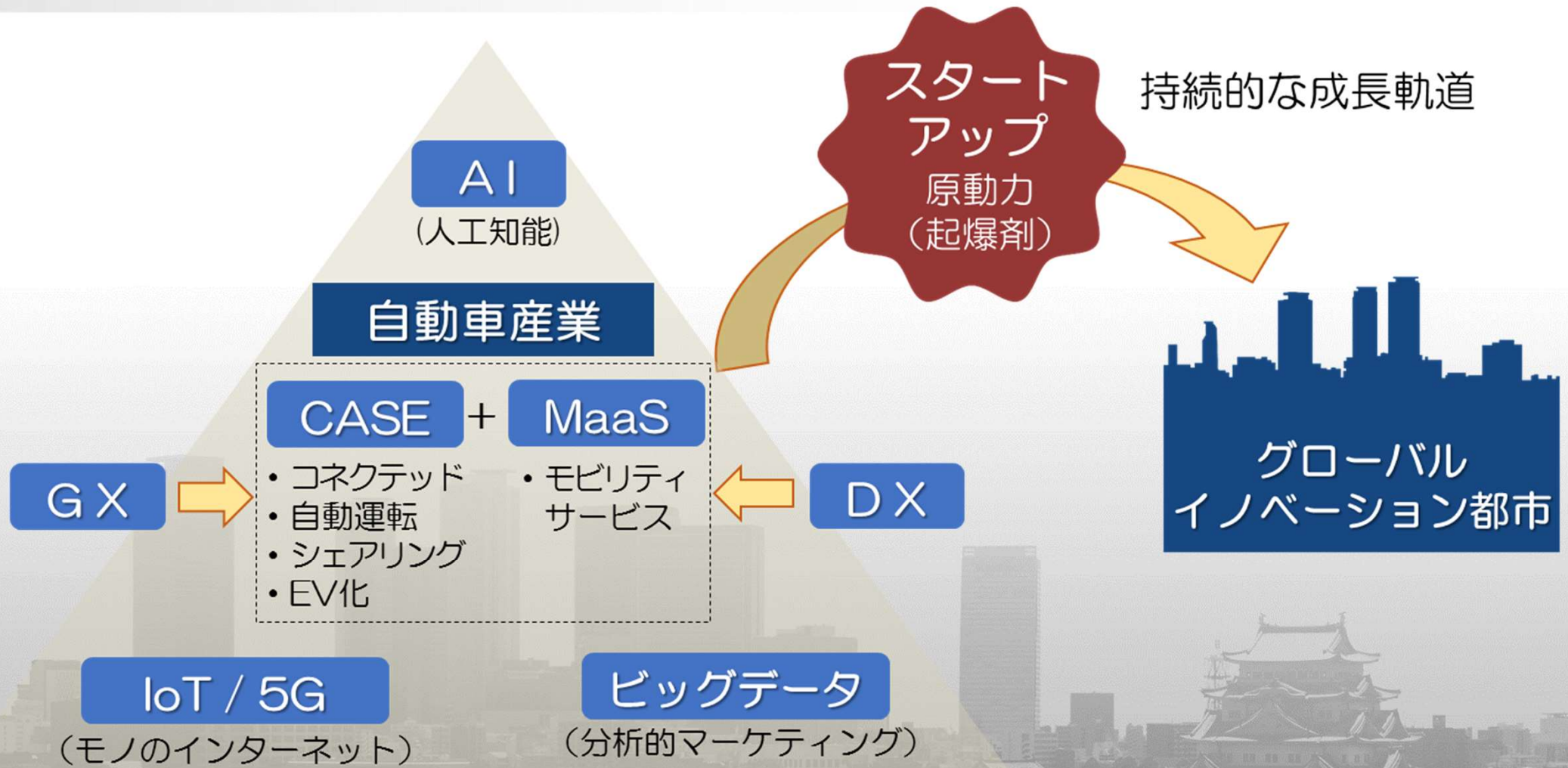
CREATE  
the  
FUTURE



愛知県 経済産業局 革新事業創造部 スタートアップ推進課

# 1 あいちスタートアップ・エコシステム形成の背景

自動車産業の歴史的な大変革の中で、デジタル技術の加速度的な進展に伴う産業構造転換への対応



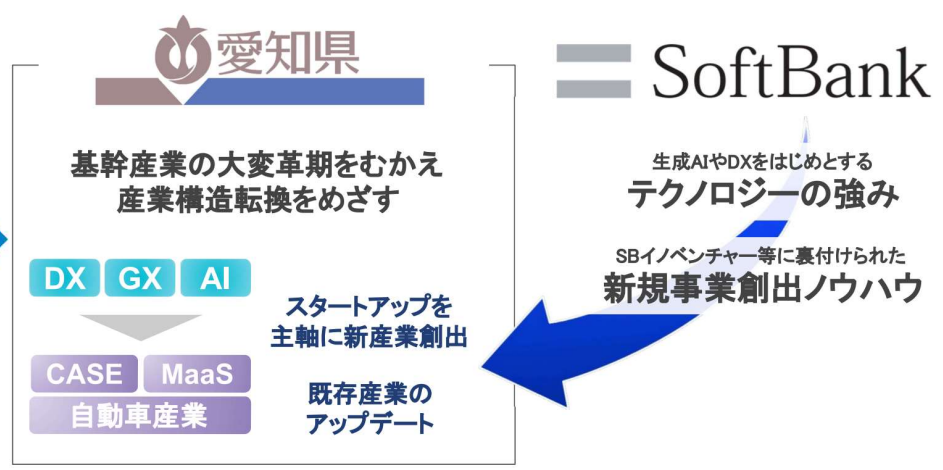
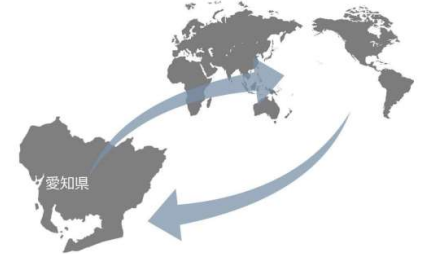
※ スタートアップは、アジャイル開発を通じて、新市場・顧客を生み出しブルーオーシャン市場を開発。この市場に対して、新たなコト・体験・価値（モノ・サービス・情報）を投入。競争がない中で、スタートアップし、イノベーション創出に貢献。

# 1 あいちスタートアップ・エコシステム形成の背景（地域特性の分析）

<p>《基本コンセプト》</p> <p>愛知県独自のスタートアップ エコシステムの形成</p>		強み	弱み
			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界最先端技術・ノウハウの存在（高度な要素技術/基盤技術）</li> <li>● 自動運転、ロボット等最新モノづくり企業中心のネットワーク</li> <li>● 国土の中心となる地理的優位性</li> <li>● 歴史的にベンチャースピリットを持った人材が豊富</li> </ul>
機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スタートアップ創出要請拡大</li> <li>● CVC、VCの活発化</li> <li>● CASE、MaaSの動向から愛知県産業構造転換要請</li> <li>● 愛知県内大学でアントレプレナー活動の活発化</li> <li>● ソーシャル・スタートアップの台頭</li> <li>● メタバース等、新しいビジネス機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モノづくり企業・最先端技術とスタートアップ・最先端ビジネスモデルとの融合</li> <li>●革新事業の創造による社会的課題解決の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スタートアップ創出・育成・展開・誘致を柱とする地域総合戦略の策定</li> <li>●事業承継・第二創業等を機会とする新ビジネス展開の促進</li> </ul>
脅威	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内外でエコシステム形成による新産業振興の活発化</li> <li>● 東京圏におけるスタートアップの圧倒的な吸引力の存在</li> <li>● 自動車産業分野における最先端システム（自動運転システム等）開発拠点の県外形成</li> <li>● 国際的な地政学リスクの発生</li> </ul>	<p>“モノづくり融合型”の愛知県独自のスタートアップ・エコシステムの形成</p>	<p>スタートアップ成功体験の地域内での共有化</p>

# 2 STATION Aiプロジェクト

## STATION Aiの発足経緯



## 施設建設と施設運営の2つのフェーズに分かれる

**STATION Ai株式会社**  
(ステーションエーアイ)

設立年月日: 2021年9月1日

所在地: 愛知県名古屋市昭和区 鶴舞1丁目2番32号

株主: ソフトバンク株式会社 (100%)



設計・建設

STATION Ai

施設引渡し

建設費用支払

施設所有

愛知県

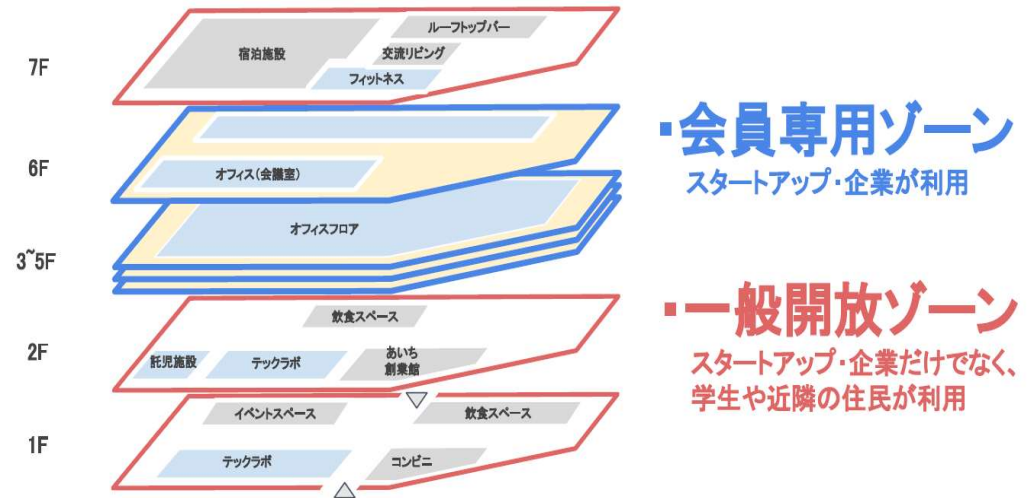
運営権 (10年)

運営権対価支払

施設運営

STATION Ai

# STATION Ai <日本最大のスタートアップ支援拠点>



## “Autonomous City in STATION Ai” - STATION Aiのなかに進化し続ける街を作る -

### 従来のシェアオフィス

- ・各ゾーン領域が明確に分離
- ・フロアによるゾーン分け
- ・最短距離の動線

### STATION Ai

- ・各ゾーン領域を曖昧にする
- ・上下階の関わりを作る空間
- ・状況やニーズによって可変する

## 多様な交流とイノベーションを育む ひとつながりの空間設計

- 1 スロープで各階が繋がる  
シームレスな空間
- 2 多様な働き方を受け入れる  
集中とリラックスの共存
- 3 鶴舞公園と一体化する  
皆に開かれた施設
- 4 館内状況を可視化する  
スマートビルディングの実装

入居者とともに築き上げる余白を残し、  
時代やニーズに合わせて進化する場を創出する

## 施設概要

### 国内屈指のロボットフレンドリー環境の実現

### 建設工程にスタートアップの技術を活用



配筋・配管検査の検証をデジタルツインプラットフォーム「TRACNITY」による3Dモデル化でコスト抑制。



DXソリューションを用いて次世代のホテル宿泊体験を実現。



フィットネスジムの運営に防犯カメラを活用したAI画像解析ソリューションを提供。



植物廃棄物から生まれたサステナブルな家具プロダクトをSTATION Ai内に設置。



唯一無二の存在感を放つ具彫作家達のアート作品を、施設内各所へ提供。

## 地域の皆様にもご利用いただける施設

※店名は今後変更になる可能性があります



© STATION Ai Corp.

# 2024年10月31日 グランドオープン

## オープニングセレモニーには 3日間で約4,000の方が来場



# グランドオープン時のSTATION Ai会員数

スタートアップ  
約500社

パートナー企業  
約200社

スタートアップとパートナー企業の  
オープンイノベーションに最注力

新たな発想、技術や熱量に  
支えられたスタートアップ

愛知県産業と親和性の高い  
SUの集積



国内外のパートナー企業





### 様々なニーズに対応可能な座席プランを用意

コワーキング席



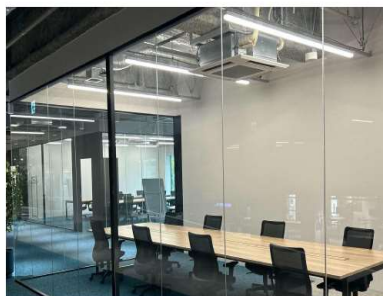
フリーアドレスで自由な利用

固定席



新たな出会いと交流を生む  
開かれた専有スペース

個室席



拠点として利用可能な  
専有スペース

### スタートアップに必要な幅広い支援メニューを用意



コミュニティマネージャーがスタートアップの状態を管理  
適切な支援サポートへとスアップ

## 越境の最大地点へ。

# STATION Ai



STATION Ai  
コミュニティ



## STATION Ai がハブとなり スタートアップとの協業を創出

### 3 スタートアップ創出・成長支援

## AICHI STARTUP SCHOOL (2022年度～)

- 目的 起業など新たな価値を創造する人材を若年層から発掘・育成
- 対象 小学生、中学生、高校生・高専生・専修学校高等課程生
- 内容 ① 小中学生向け起業家精神育成プログラムの開催  
② 高校生・高専生等向け起業家精神育成プログラム（基礎編・応用編）の開催



#### 2024年度(新規)

#### 【高校向けアントレプレナーシップ教育出張授業】（県内10校程度）

- ・ 高校生が新たなキャリアの選択肢を知り、アントレプレナーシップの重要性を理解してもらうため、高校の授業の中で、起業や新規事業創出に携わる方から、自身のキャリアや事業を行うきっかけ等を聞く出張授業を実施します。

#### 2023年度の内容



#### 【小学生プログラム】 2023年度参加者 249名（県内4会場）

- ・ 身近な題材を基に、起業や会社設立・運営を体験するワークショップを行います。

#### 【中学生プログラム】 2023年度参加者 89名（県内4会場）

- ・ 起業を想定した事業計画の作成、模擬販売の実施します。



#### 【高校生基礎編プログラム】 2023年度参加者 24名（県内3会場）

- ・ 事業アイデアの構築しビジネスモデルのピッチを行います。

#### 【高校生応用編プログラム】 2023年度参加者 14名（県内1会場）

- ・ ビジネスプランの作成を通じた実践的起業体験し、事業計画のピッチを行います。

### 3 スタートアップ創出・成長支援

#### 学生向けプログラム・社会人向けプログラム（2023年度～）

- **目的** 「革新的ビジネスアイデア」を持った人材、生み出したい人材を発掘し、スタートアップ起業家として育成
- **対象** 【社会人向け】社会人・既存企業・スタートアップ支援者等  
【学生向け】国内外の大学院、大学、専門学校、高校生等
- **内容** 【社会人向け】講演会や勉強会、ワークショップを絶え間なく実施し、参加者を継続的に支援していくことで、起業家育成の好循環を生み出す。  
【学生向け】学生の参加しやすい夏季（8～9月）、春季（2～3月）に起業家支援の短期集中プログラムを実施

#### 学生向けPG

（全240人程度）

#### 特徴

- ・ 6日間程度の短期集中プログラム（夏・春開催）。
- ・ ハイブリット形式による開催で国内外から優秀な学生が参加可能。
- ・ 優秀者はPRE-STATION Aiのメンバーへ。

#### 社会人向けPG

（全240人程度）

#### 特徴

- ・ 講演会・勉強会・ワークショップ等を年間を通じて実施。
- ・ 起業確度の高い参加者にはギルドやメンタリングで起業に向けた支援を実施。

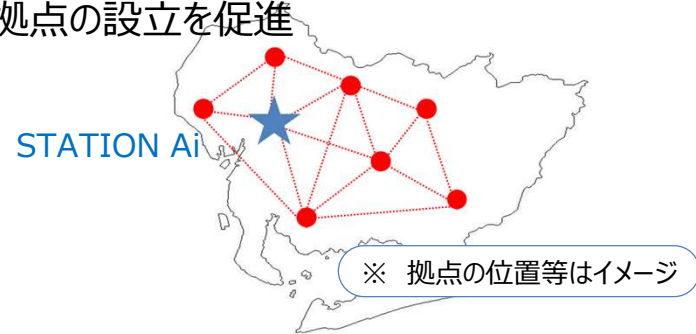
#### スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
社会人向け	←		講演会			←		講演会			→		
	←		勉強会			←		勉強会			→		
	←		ワークショップ			←		ワークショップ			→		
	ギルド				ギルド				ギルド				
←												→	
学生向け	● セミナー		● アイデアソン		学生向けPG（夏）			● セミナー		● アイデアソン		学生向けPG（春）	

# 3 スタートアップ創出・成長支援

## STATION Aiパートナー拠点

- **目的** STATION Aiを核とした、県内全域にわたるスタートアップ・エコシステム形成
- **内容**
  - ① 県内各地域にSTATION Aiと相互に連携・協力するSTATION Aiパートナー拠点の設立を促進
  - ② 各地域でスタートアップ・エコシステムが自立的に発展できるように、スタートアップ支援に積極的に取り組む地域を支援する統括マネージャーを配置



### STATION Ai パートナー拠点 (イメージ)



パートナー拠点のコミュニティ内で関与が期待される地域のプレイヤー

### STATION Aiパートナー拠点との連携内容

- **STATION Aiが提供できるリソース例**
  - ・ スタートアップ支援プログラムの提供
  - ・ STATION Aiのネットワークを活かしたスタートアップ、支援機関等との交流や誘引
- **各地域が提供できるリソース例**
  - ・ 地元企業を事業共創パートナーとして紹介
  - ・ 実証実験フィールドの提供 等

### 統括マネージャーによる支援内容の例

#### 「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM」



県内の自治体や支援機関を対象とした、スタートアップ支援の実践機会を提供するプログラム。

#### <参加団体>

**24** 団体  
2023年度

**47** 団体  
2024年度

## パートナー拠点 3 拠点

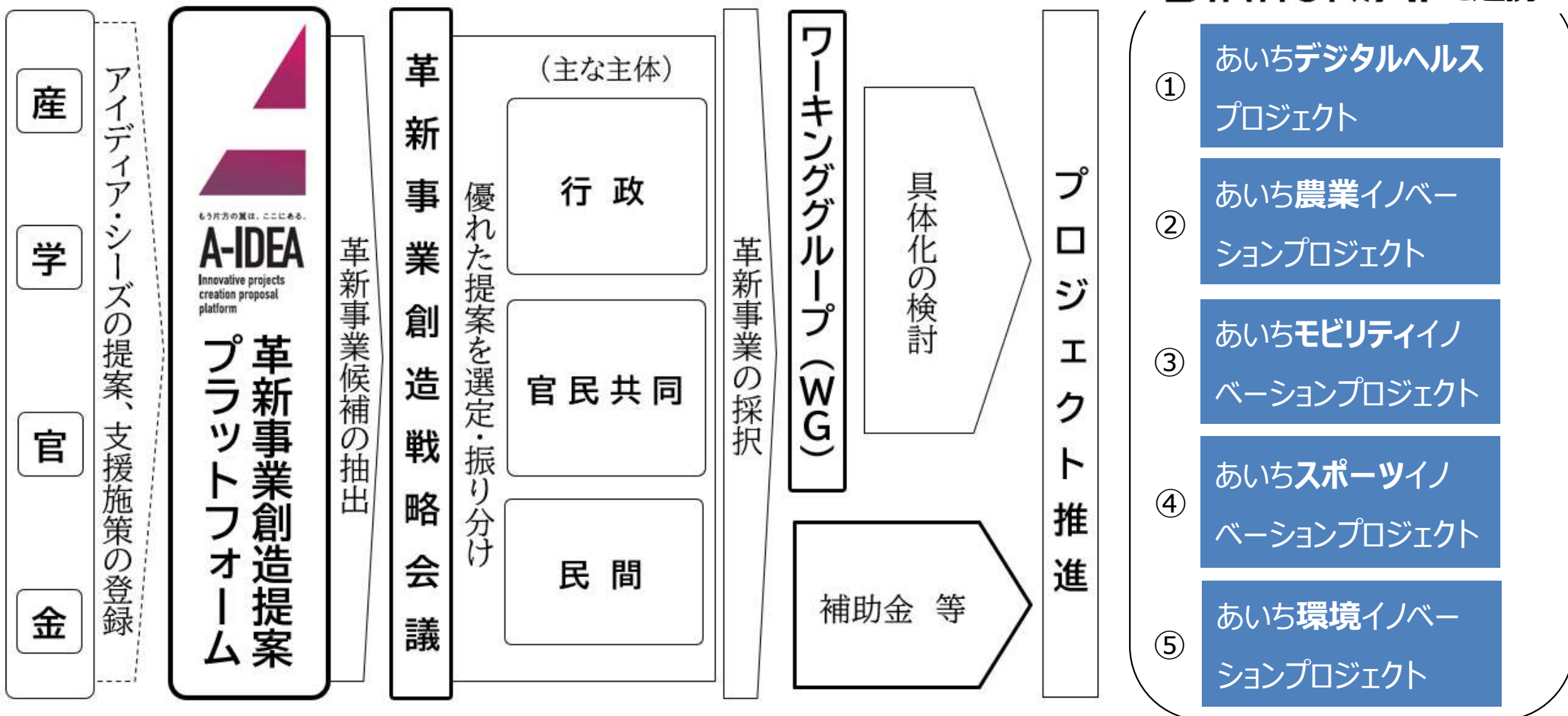
- 2021年度 東三河スタートアップ推進協議会
- 2023年度 ウェルネスバレー推進協議会
- 2024年度 刈谷イノベーション推進プラットフォーム

# 4 グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト

## 革新事業創造戦略による中核プロジェクトの創出プラットフォーム形成

- 「革新事業創造戦略」（2022年12月策定）に基づき、民間提案を起点とした官民連携による絶え間ないイノベーションの創出を図るプラットフォーム「A-IDEA」の構築。民間補助制度も併設。

### 推進体制



## 5 世界に伍するスタートアップ・エコシステム

### スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市

- **概要** 政府、政府関係機関、民間による集中支援 世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成
- **認定** 2020年7月、愛知・名古屋・浜松地域がスタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」に認定

#### コンソーシアムが拠点形成計画を策定

- ▷ **名称** : Central Japan Startup Ecosystem Consortium
- ▷ **代表者** : 中部経済連合会会長
- ▷ **構成組織** : 中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市、  
浜松市始め295企業・団体・大学等



J-Startup  
CENTRAL

#### Aichi-Nagoya

スタートアップと  
新産業の創出が続く  
新しい社会  
「Next Society」の実現

#### Central Japan Startup Ecosystem Consortium

共通の産業基盤  
の集積

#### 浜松

ものづくりスタートアップの  
拠点としての役割を担う  
「浜松バレー」の実現

# 5 世界に伍するスタートアップ・エコシステム

## 地球の未来を拓くテクノロジーの祭典「TechGALA Japan」の開催

- 主体：愛知県、名古屋市、一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学等を中心とした Central Japan Startup Ecosystem Consortium
- 目的：当地域のスタートアップ・エコシステムを、世界からイノベーターが集まる地域としてブランディングするため、イノベーションに携わるステークホルダーが世界中から集い、交わり、イノベーションが創出される場となるグローバルイベントを開催する。

### 2024年度 Tech GALA Japan イベント概要

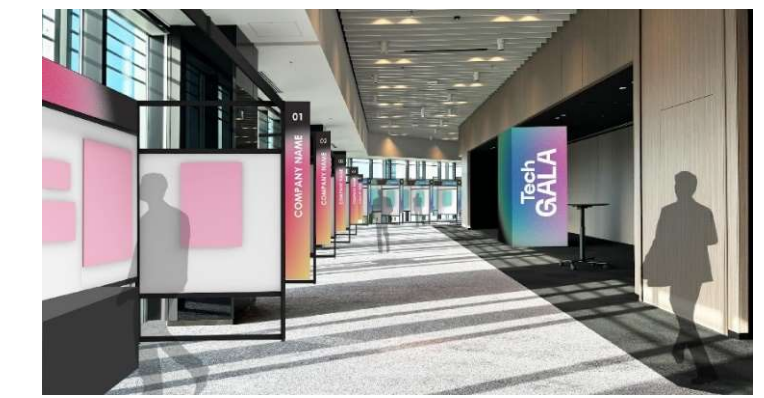
- 時期：2025年2月4日（火）～2月6日（木）（3日間）
- 会場：STATION Aiを中心に、名駅地区、栄地区等の都心部の複数会場
- 内容：著名な起業家、投資家などによる基調講演、トークセッション、ブース展示等
- プロデューサー：奥田 浩美氏 株式会社ウィズグループ 代表取締役  
<プロデューサーについて>  
1990年代にMicrosoft等が主催するアメリカの最先端カンファレンスの日本初開催を手掛けて以降、様々な国際カンファレンスに携わった経験を有する。経済産業省J-Startupの推薦委員であり、シリコンバレーへの起業家派遣に携わるなど、スタートアップ×グローバルの知見を有する。



### 基調講演/パネルディスカッション



### 企業展示/ビジネスマッチング



### 交流企画



## 6 スタートアップ・グローバルコミュニティの形成

世界最先端のグローバル・イノベーション 《9か国22支援機関・大学との連携》



### フランス

- STATION F
- INSEAD
- パリ市
- Paris & Co
- IMT Atlantique
- Bpifrance
- オーベルニュ・ローヌ・アルプ地域圏



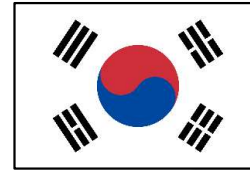
### ドイツ

- NRW州



### イスラエル

- イスラエルイノベーション庁
- Start-Up Nation Central



### 韓国

- 慶尚南道



### アメリカ

- テキサス大学オースティン校
- テキサス州
- ケンタッキー州
- カリフォルニア大学バークレー校  
(バークレースカイデック)



### ポルトガル

- ポルトガル経済省
- Startup Portugal



### スペイン

- マドリード州



### 中国

- 清華大学/Tus  
ホールディングス
- 上海交通大学
- 浙江大学



### シンガポール

- シンガポール国立大学



## 6 スタートアップ・グローバルコミュニティの形成

### グローバルコミュニティの形成（具体的な連携の方向性）

#### 先進的な 知見の取得

- 世界最先端のスタートアップ支援の知見方法論取得
- 本地域のスタートアップエコシステムを強化

#### 地域スタート アップの海外 展開支援

- 連携先機関のネットワークやリソースを活用
- 地域内スタートアップの海外市場展開支援

#### 海外スタート アップの誘引・ 地域企業 との共創

- 地域産業集積と融合する世界のスタートアップ誘引
- 地域企業とのオープンイノベーション促進

#### スタートアップ 施設間の 連携

- 世界各国のスタートアップ支援拠点とSTATION Aiとで、情報共有やプログラム連携

越境の最大地点へ。

STATION Ai

[問合せ先]



[<https://www.aichi-startup.jp/>]  
Aichi-Startup推進ネットワーク会議ポータルサイト



[<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/startup/>]  
愛知県経済産業局革新事業創造部スタートアップ推進課Webサイト



[<https://stationai.co.jp/>]  
STATION Ai (株) HP